

旭が丘小だより

自ら正しく行う旭っ子

令和6年11月8日 NO.15

大村市立旭が丘小学校 校長 赤木 章二

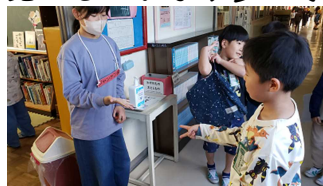
2024読書ビンゴ！

10/28(月)～11/19(火)

朝夕めっきり涼しくなり、何をするにも活動しやすい季節になってきました。子どもたちも落ち着いて学習に取り組み、実りの秋を迎えようとしています。旭が丘小学校では、秋の読書週間に合わせて、読書ビンゴに取り組んでいます。低・中・高学年用のビンゴカードに書かれた種類の本（動物や虫の本、ジブリの本、作者の名前がア行の本、歴史の本、小説など）を借りるとスタンプを押してもらえます。中には、図書委員とジャンケンして勝ったらスタンプを押してもらえるラッキーチャンスもあります。ビンゴ2列で貸出券がもらえたり、全ビンゴでくじが引けたり、子どもたちが楽しみながら読書に親しめるように工夫されています。貸出冊数も11/7(木)現在、35,120冊で、司書の先生の話では、去年の同時期と比べるとかなり多いそうです。



実が色づいた読書の木



図書委員とジャンケン



スタンプ係「ビンゴおめでとう！」



貸出・返却も大忙し

2年「おもちゃランド！」

2年生は、生活科の学習でおもちゃを作りました。身近にある牛乳パックや紙コップ、カップ麺や乳酸菌飲料の容器、食品トレーなどを使って、工夫したおもちゃが出来上がりました。

この日は、手作りおもちゃのお店を開き、招待した1年生に楽しんでもらいました。おもちゃの遊び方を教える姿は、すっかりお兄さんお姉さんになっていました。



4年「市内小学校音楽会！」

大村市内の小学校と県立ろう学校の子どもたち（主に4年生が参加）が一堂に会し、音楽会を開催しました。黒木太鼓の演奏を聴いたり、校歌を歌ったり、全員で「もみじ」を合唱したり、音楽をとおして心が一つになる喜びや楽しさを味わうことができました。

中でも、子どもたちが夢中になったのはボディーパーカッションでした。速い曲に合わせて、一生懸命に手や足でリズムをとっていました。



5年「車いす体験！」

大村市社会福祉協議会の方を講師としてお迎えし、車いす体験を行いました。まず、福祉について学習しました。

- ⑤だんの
- ④らしを
- ③あわせにする

を合言葉に福祉のお仕事をされているそうです。多くの方に福祉のことを知ってもらおうと、車いす体験や高齢者疑似体験などを実施しているそうです。子どもたちは、乗車役、介助役、サポート



役に分かれて、車いすに乗っている人の気持ちを考えたり、より安全安心な介助の仕方を学んだりしていました。

1年「いもほり！」

5月に芋苗を植えてから約6か月が経ち、子どもたちが楽しみにしていた「いもほり」をしました。芋づるを手掛かりに掘りすすめ、さつま芋を見つけると大喜びの子どもたちでした。今年は小ぶりな芋が多く、ちょっぴり残念そうでしたが、子どもたちは宝探しをしているかのように、楽しそうに掘っていました。



11月は「ココロねっこ運動」強調月間です！

「大人みんなで、子どもの心を育てよう！」子どもたちの将来を考え、私たち大人がよきモデルとなって、心の根っこをしっかりと育てましょう。詳しくは、tetoru(10月31日付)で配信しています「ココロねっこ運動リーフレット」をご覧ください。